

オースチン彗星がやってくる

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

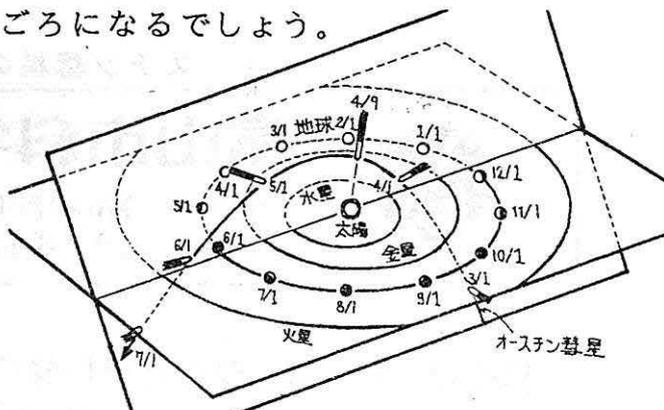
オースチン彗星あらわれる

昨年12月6日、ニュージーランドのオースチンさんは、日本からは見えない南の空で新しい彗星を発見し、この彗星はオースチン彗星と名づけられました。くわしく調べてみると、この彗星は大型で、しかも尾のもとになる”ちり”をたくさん持っていることがわかり、太陽に近づいた後、明るくなって長い尾をたなびかせるのではと予想されています。このような大彗星が接近するのは、1976年3月のウェスト彗星以来、14年ぶりのことです。

いつ見えるか

この彗星が太陽に接近するのは4月9日です。それ以前は、夕方の西の空低い所にいますが、空が暗くならない前に沈んでしまい見つけるのはむづかしく、また太陽に一番近づくころも太陽のすぐ近くにいるので、やはり見ることはむづかしいでしょう。4月19日ごろになると、彗星の明るさは2等星ぐらいになって、明け方の午前3時半ごろ、北東の地平線近くに尾を引いた姿を現わすようになります。それから、日ごとに見え始める時間が早くなって、見えている時間も長くなります。特にゴールデンウィークのころには、午前2時20分ごろに昇り、夜明け直前まで1時間以上も観察できます。しかも月明かりのじゃまなどありませんから、このころが一番の見ごろになるでしょう。

また5月25日に彗星は地球に接近し、月明かりのじゃまもなくなり再び見やすくなります。このころはわし座のアルタイル（七夕の牽牛）の近くにいて午後10時ごろに東の空から昇ってきて、夜明け前には60°ぐらいの高さに

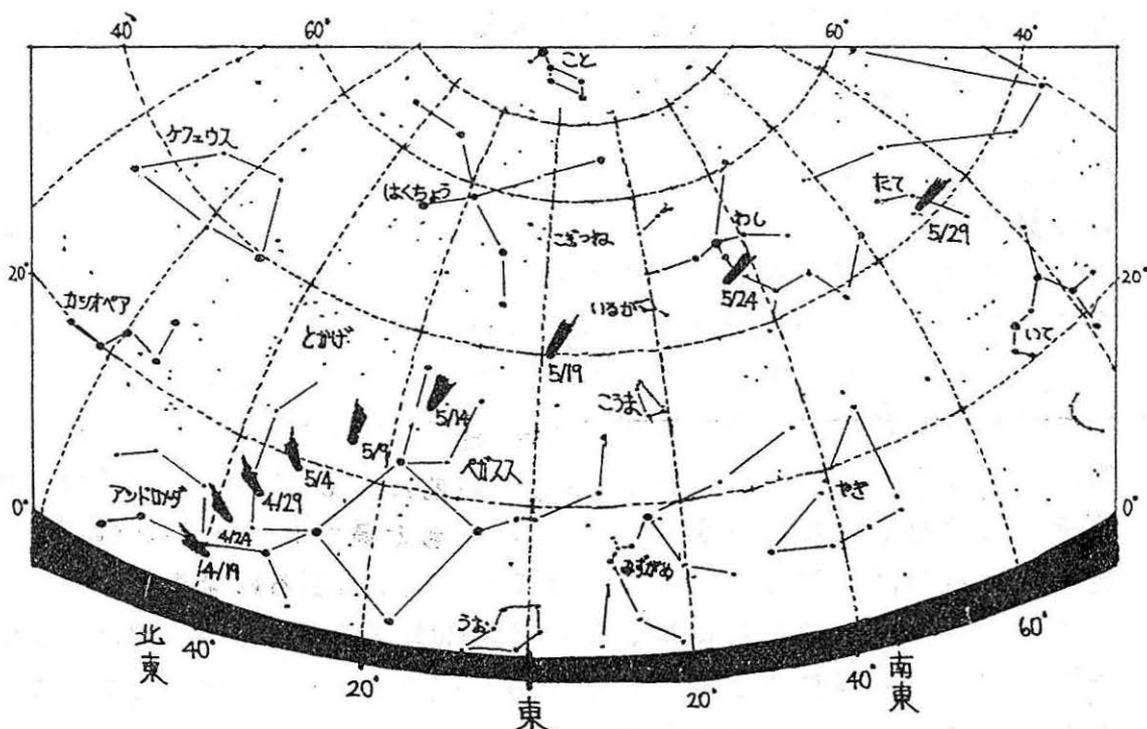


オースチン彗星と太陽と地球の関係

なり、一晩中見ることができます。

オースチン彗星を見るには

この彗星を見るには、空の暗いところなら、肉眼でも充分見えますが街の中では、双眼鏡などが必要になるでしょう。その場合は、星座の形を覚えて、それを手掛かりにして彗星をさがす必要があるため、下図などを参考にしてください。もっとくわしく知りたい方は、資料を用意していますので科学文化センターへお問い合わせください。このような明るい彗星はめったに見られません。このチャンスを逃がさないよう、ぜひ早起きをして、オースチン彗星をご覧ください。（布村 克志）



オースチン彗星の見える位置



富山市科学文化センター

〒939 富山市西中野町1丁目8番31号
電話 (0764) 91-2123 (代表)

平成2年4月1日発行

当館では4月28日に、立山少年自然の家で「オースチン彗星を見る会」を開催します。くわしくはお問い合わせください。
4月から5月まで星空のテレフォンサービスでもオースチン彗星についてお知らせします。TEL (0764) 31-0199